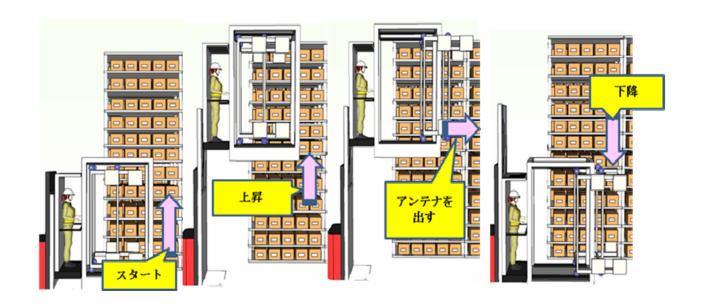
東京都港区海岸三丁目 3 番 8 号安田 倉庫 株式 会社 代表者名 取締役社長 藤田 久行 (コード番号: 9324 東証第1部) 問合せ先 業務部長 小川 一成 (TEL. 03 - 3452 - 7311)

RFID技術を利用した「オーダーピッカー搭載型文書箱棚卸装置」 が自動認識システム大賞優秀賞を受賞 文書箱棚卸作業の効率が大幅にアップ

弊社は、かねてよりRFID(Radio Frequency Identification:電波による個体識別機能)の実用化に向けた研究に取り組んでまいりましたが、このたび「オーダーピッカー搭載型文書箱棚卸装置」を開発し、文書在庫の棚卸迅速化を実現したことにより、第15回自動認識システム大賞(主催:一般社団法人日本自動認識システム協会)の優秀賞を受賞いたしました。この自動認識システム大賞は、同協会が15年前から毎年実施しているもので、自動認識技術やシステムの発展と普及・啓発を目的として、先進的かつその効果が極めて顕著な自動認識関連の技術やシステムに対して与えられるものです。今回の受賞は、経済性、技術的工夫および利便性が評価されたものですが、RFIDを活用した更なるセキュリティーの強化と付加価値の創造により、お客様により高度な品質の物流サービスをご提供できますよう努力いたします。

【開発の背景】

従来、倉庫内における文書箱などの棚卸作業は作業員がオーダーピッカーに搭乗して文書箱を出し入れして行う必要があり、作業効率が悪く、高所での作業には危険が伴っていました。本システムでは、文書箱にICラベルを貼付し、RFID(電波による個体認識)技術を用いた同装置で棚卸を行なうことにより、作業の迅速化と作業員の負荷軽減を実現しました。さらに事故の未然防止とサービス品質の向上、作業ワークロードの軽減と労働災害の未然防止をはかることができ、お客様満足度、従業員満足度の向上につながりました。



オーダーピッカー搭載型棚卸装置の動作イメージ

【システムの特長】(特許出願中)

- 1. 棚卸所要時間の大幅な短縮がはかれました。
- 2. RFID読取率ほぼ100%を実現しました。
- 3. 保管場所移動の自動抽出が実現しました。

【今後の展開】

今後、他の営業所にも順次横展開するとともに、さらにRFIDの非接触で一括読取りができる特徴を活かした出庫チェックシステムの開発を計画します。

以上



実際の装置の写真